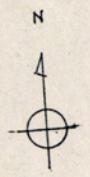
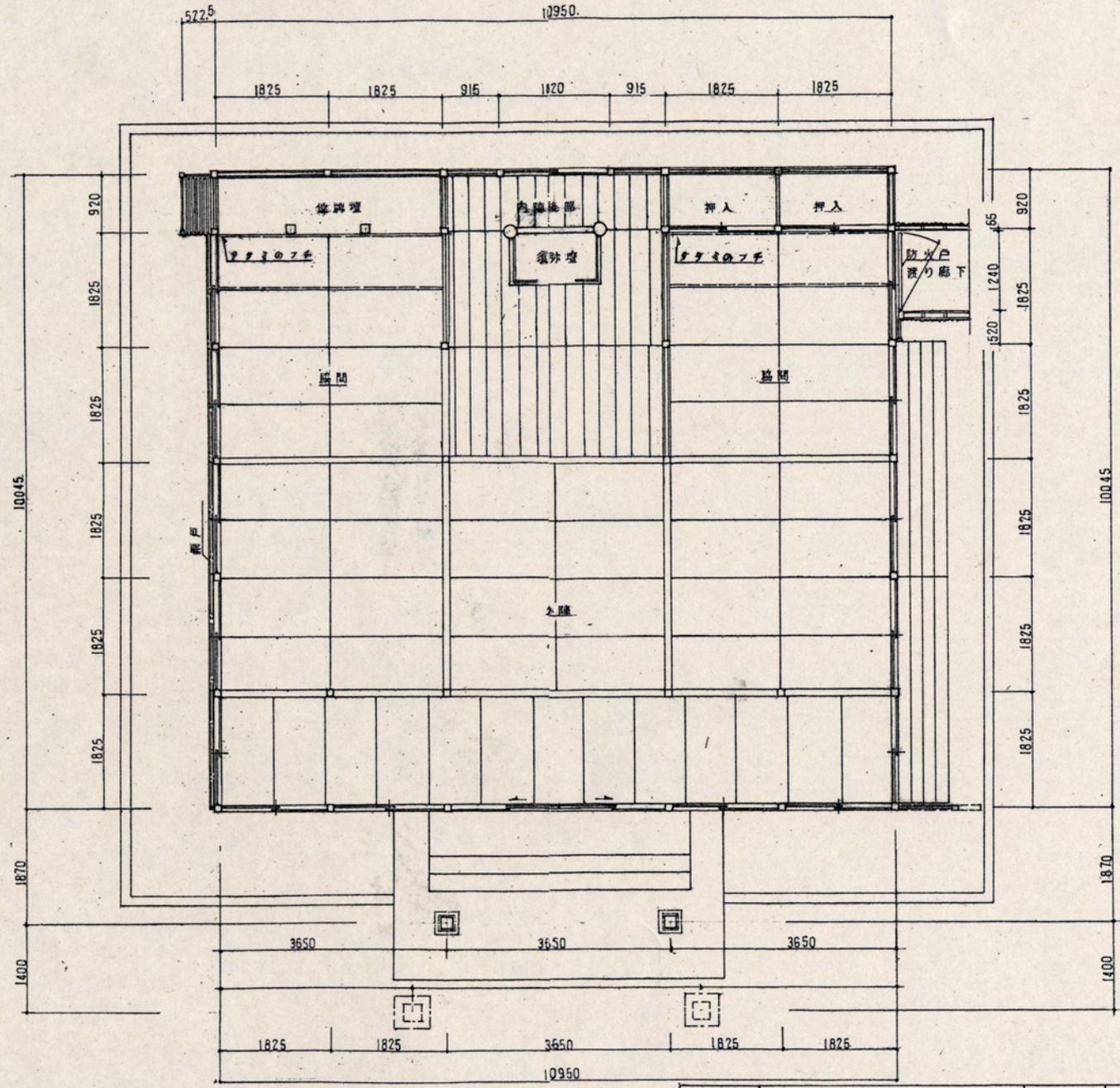


青林寺（しょうりんじ）本堂

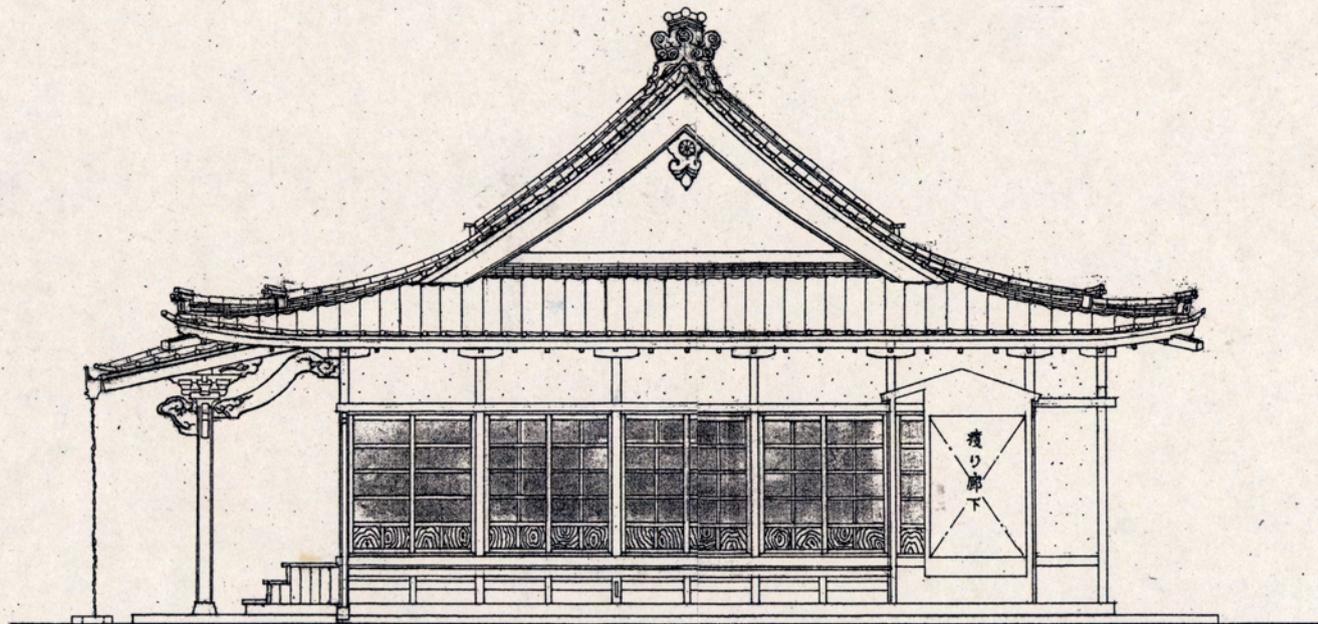
平成 17 年 2 月調査

1. 所在 宮代町字西原 357
2. 構造・大きさ
 - 屋根 入母屋造、瓦葺
 - 正面 10,950 cm
 - 側面 10,045 cm
3. 沿革 新義真言宗智山派百間山西光院の末寺で星谷山千住院真光坊と称した。元々は、山崎の西方金塚にあったが、現在地に移転したという。百間村絵図等によると、青林寺境内は西光院領 50 石の御朱印地であることから、現在地への移転は、徳川家康が江戸へ入府する以前と推定される。元禄 10 年（1697）の百間村検地帳でも確認できる。弘化 3 年（1846）春には本堂と庫裏建て替えが完成していたが、6 月、本堂・庫裏とも焼失し、その後、再建された。平成 17 年に再び建て替えられた。
4. 建築年代 嘉永 3 年（1850）の青林寺再建御寄付連名帳があることから、それより後であることが分かる。
5. 調査者 青木秀雄、北川瑩



原圖 NO 1

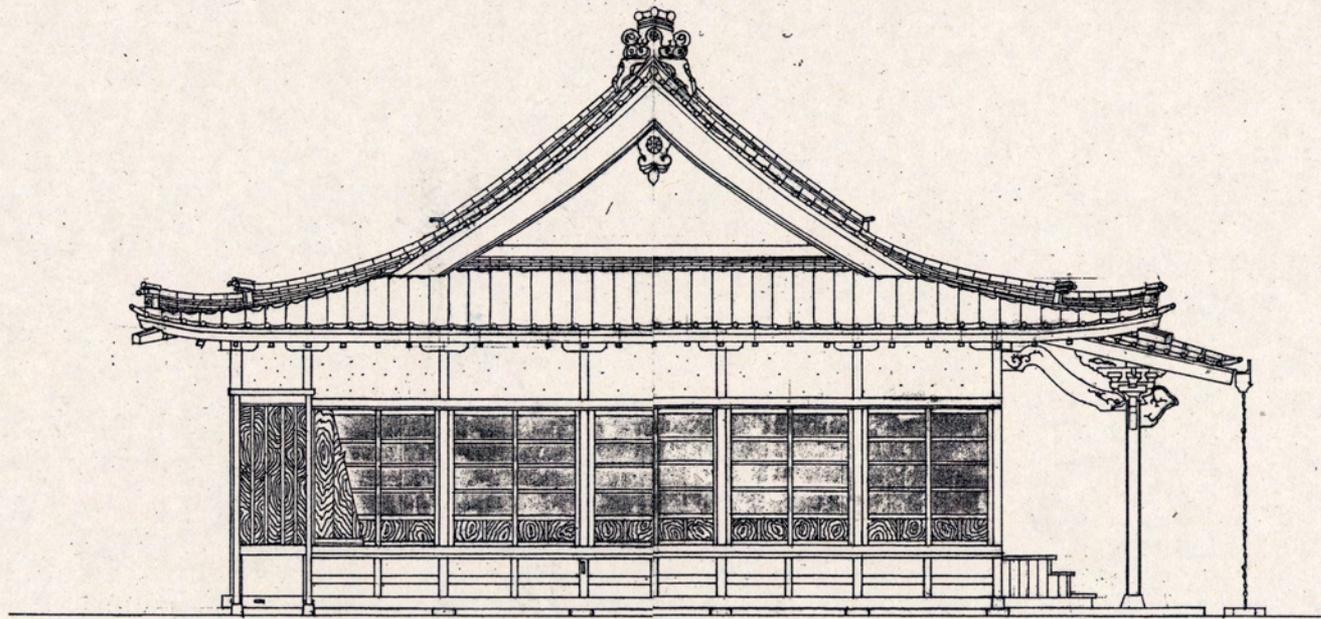
現物名	青林寺旧本堂				NO 1.
縮尺	1/100				



東側立面図

原図 N02

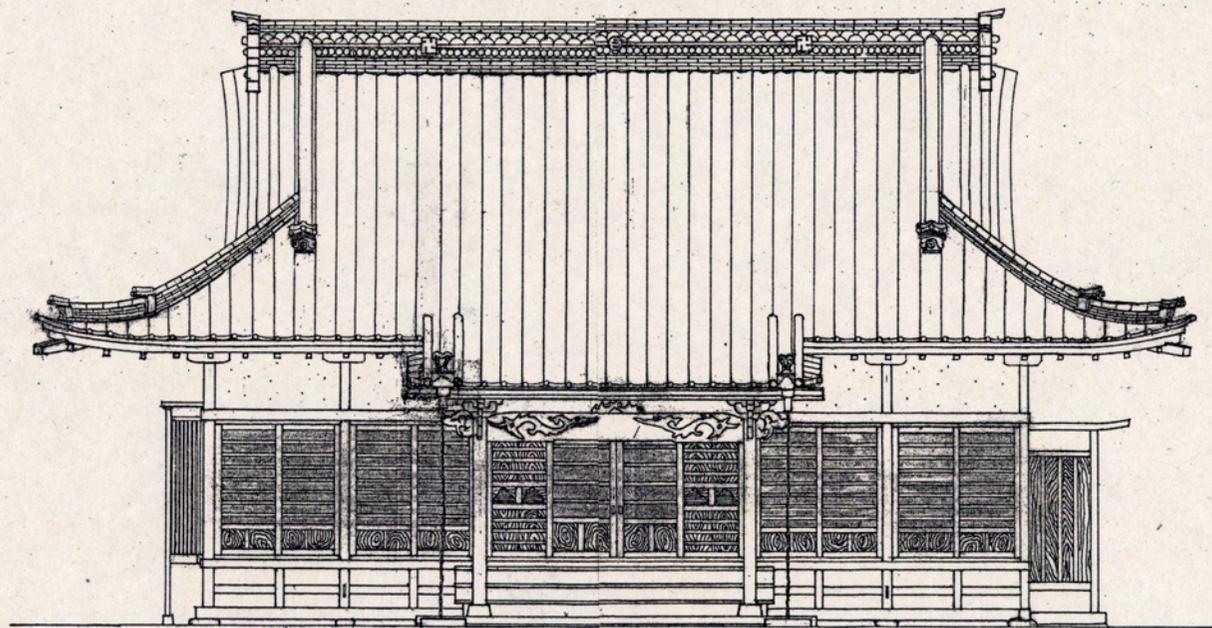
現場名	曹林寺旧本堂				N02
縮尺	1/100				



西侧立面图

原图 N03

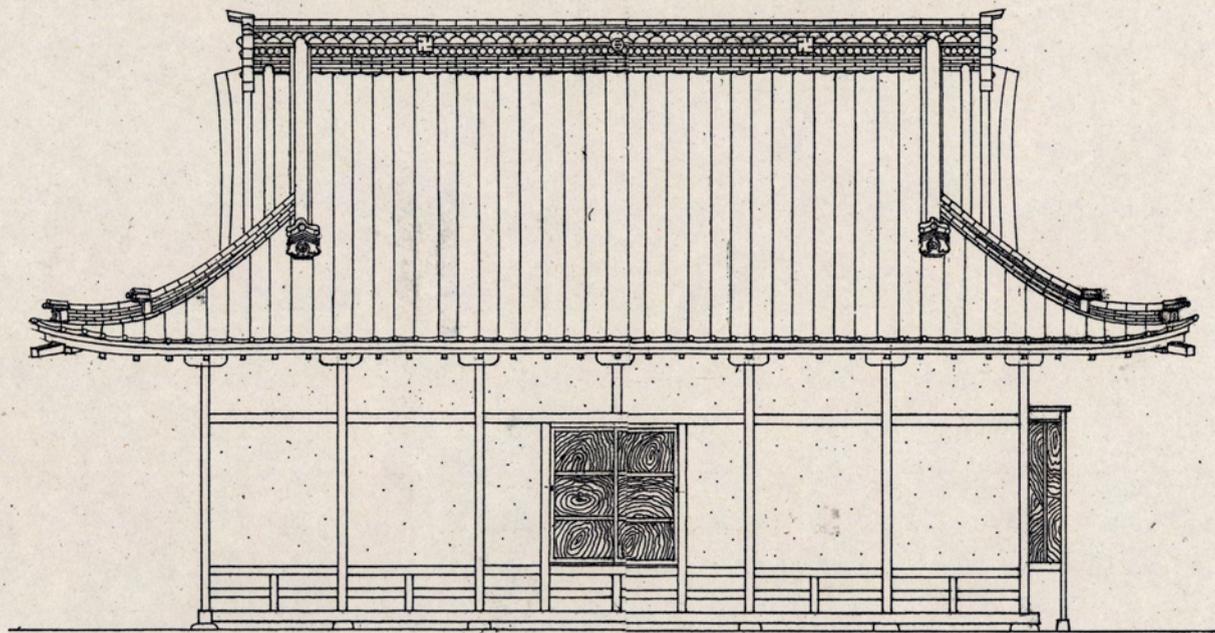
现场名	吉林寺旧本堂				N03
缩尺	1/100				



南側立面圖

原圖NO4

現場名	青林寺旧本堂				NO4
縮尺	1/100				



北側立面圖

原圖 N05

現場名	香林寺旧本堂				N05
縮尺	1/100				